

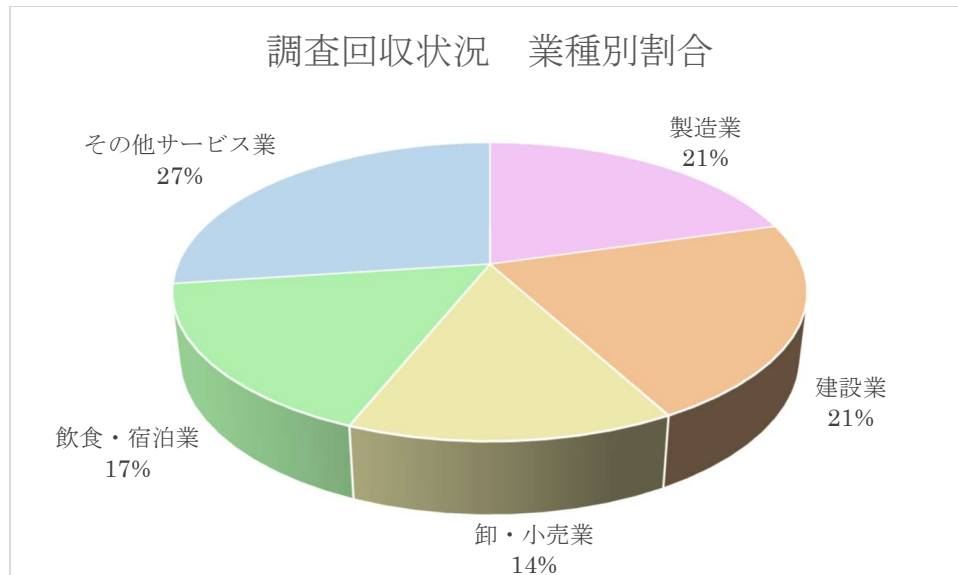
千歳市景気動向調査結果

調査期間：２０２６年４～６月の実績と２０２６年７～９月の見通しについて調査

調査方法：調査票を送付し、ＦＡＸまたはＷＥＢにて回収

調査対象：千歳商工会議所会員及び特定商工業者

回収状況：１０７社



ＤＩ（景気動向指数：ディフュージョン・インデックス）とは

増加・上昇・好転の企業割合から減少・降下・悪化の企業割合を差し引いた値のことです。

この数字がプラスかマイナスか、また、その大きさにより景気の動きを時期的な推移の中で把握します。

景気が「良い」の中には、「良いけど悪くなりつつある」などの考えも含まれるため、**業況判断ＤＩは、景気の方方向性を表すもの**です。

数値が上昇していれば、良い景況感（景気が良いと感じる企業の割合が増えたこと）を意味します。

本調査では前期（２０２６年１～３月）と比較した今期（２０２６年４～６月）の実績及び、今期（２０２６年４～６月）と比較した来期（２０２６年７～９月）の予測、今期（２０２６年４～６月）と前年同期の比較を掲載しています。

《 全体の景気動向 》

【主要 DI 調査】

主要 DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】			来期予測 (7～9月)
業 況	▲ 4. 6	→	▲ 5. 6	【 ▲ 6. 4】	→	▲ 9. 3
売 上	▲ 3. 7	↑	1 1. 2	【 16. 3】	↓	5. 6
採 算	▲ 1 6. 5	→	▲ 1 3. 1	【▲ 14. 2】	→	▲ 1 0. 3
原 材 料	▲ 6 9. 7	↓	▲ 8 1. 3	【▲ 67. 4】	↑	▲ 7 4. 3
資金繰り	▲ 4. 6	→	▲ 9. 3	【▲ 5. 0】	→	▲ 1 0. 3
労働時間	1. 8	→	4. 7	【 0. 7】	→	3. 7
雇用状況	2 8. 4	→	2 8. 0	【 29. 8】	→	2 7. 1

表中の矢印 ・ ・ ・ 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

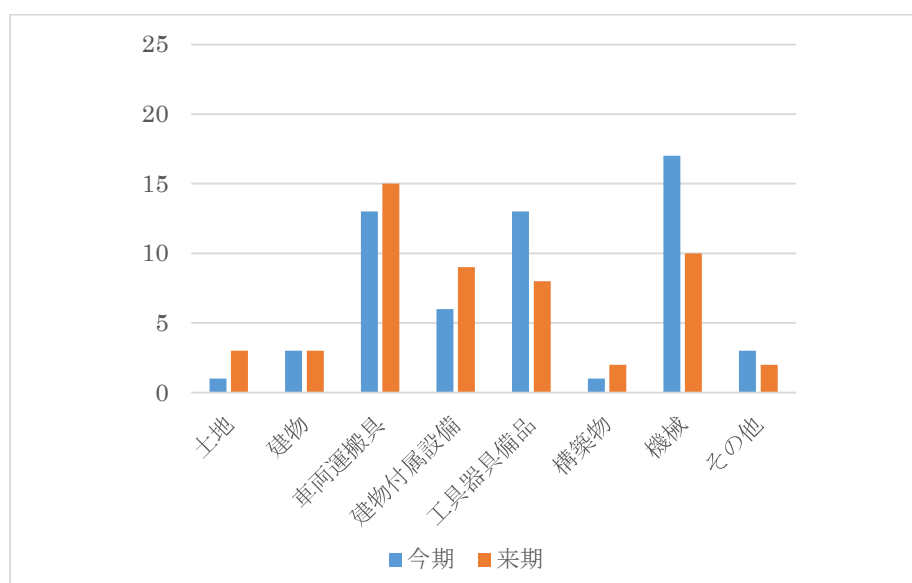
【設備投資調査】

前期（1～3月）設備投資をした企業は43. 1%

今期（4～6月）設備投資をした企業は38. 3%

来期（7～9月）設備投資を計画している企業は32. 7%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 製造業の景気動向 》

【主要 DI 調査】

主要 DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業 況	▲4.5	→	0.0 【▲33.3】	→	▲4.5
売 上	4.5	↑	18.2 【 9.5】	→	18.2
採 算	▲4.5	→	0.0 【▲33.3】	↑	9.1
原 材 料	▲72.7	↓	▲81.8 【▲85.7】	↑	▲68.2
資金繰り	▲4.5	↑	4.5 【 ▲4.8】	→	4.5
労働時間	13.6	↓	4.5 【 9.5】	→	9.1
雇用状況	27.3	↓	18.2 【 33.3】	→	22.7

表中の矢印 ・ ・ ・ 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

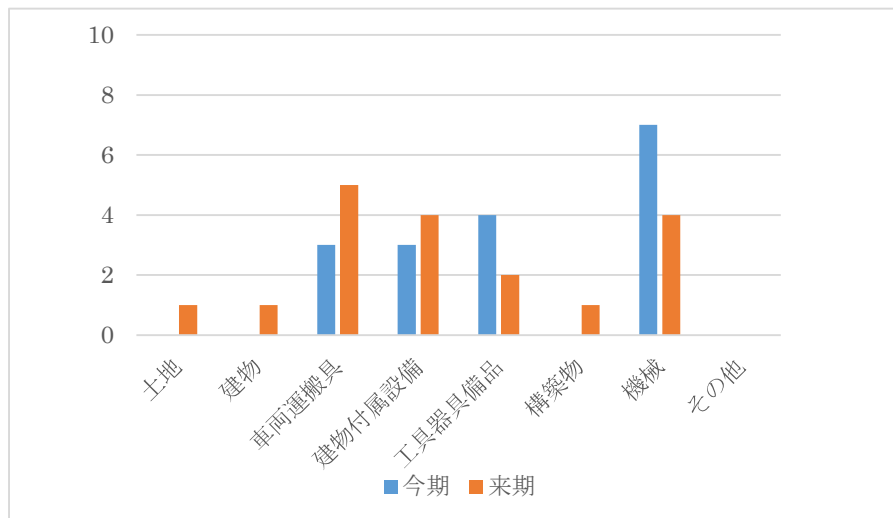
【設備投資調査】

前期（1～3月）設備投資をした企業は72.7%

今期（4～6月）設備投資をした企業は47.6%

来期（7～9月）設備投資を計画している企業は47.6%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 建設業の景気動向 》

【主要 DI 調査】

主要 DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業 況	8. 0	↓	▲ 8. 7 【▲12.9】	→	▲ 8. 7
売 上	8. 0	↓	▲ 17. 4 【 12.9】	↑	0. 0
採 算	▲ 20. 0	↓	▲ 34. 8 【▲16.1】	↑	▲ 17. 4
原 材 料	▲ 68. 0	↓	▲ 82. 6 【▲58.1】	→	▲ 78. 3
資金繰り	0. 0	↓	▲ 8. 7 【▲12.9】	↓	▲ 17. 4
労働時間	0. 0	↑	8. 7 【 12.9】	→	4. 3
雇用状況	40. 0	↓	26. 1 【 35.5】	→	26. 1

表中の矢印 ・ ・ ・ 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

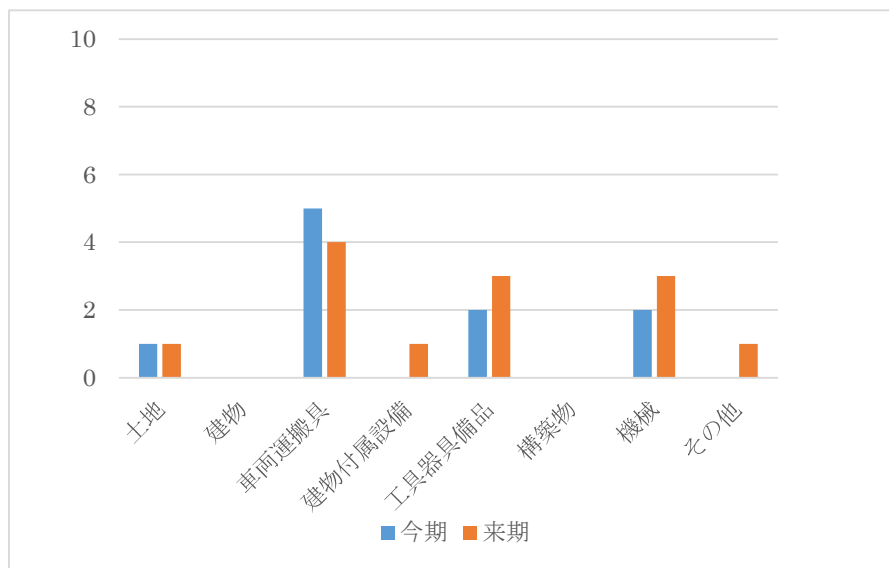
【設備投資調査】

前期（1～3月）設備投資をした企業は44. 0%

今期（4～6月）設備投資をした企業は33. 3%

来期（7～9月）設備投資を計画している企業は37. 5%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 卸・小売業の景気動向 》

【主要 DI 調査】

主要 DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業 況	▲7.1	↓	▲13.3 【29.6】	↓	▲20.0
売 上	▲14.3	↑	26.7 【29.6】	↓	13.3
採 算	▲28.6	↑	▲13.3 【18.5】	→	▲13.3
原 材 料	▲64.3	↓	▲86.7 【▲70.4】	→	▲86.7
資金繰り	▲14.3	↓	▲26.7 【3.7】	↑	▲20.0
労働時間	▲7.1	↑	0.0 【11.1】	→	0.0
雇用状況	24.1	→	20.0 【25.9】	→	20.0

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

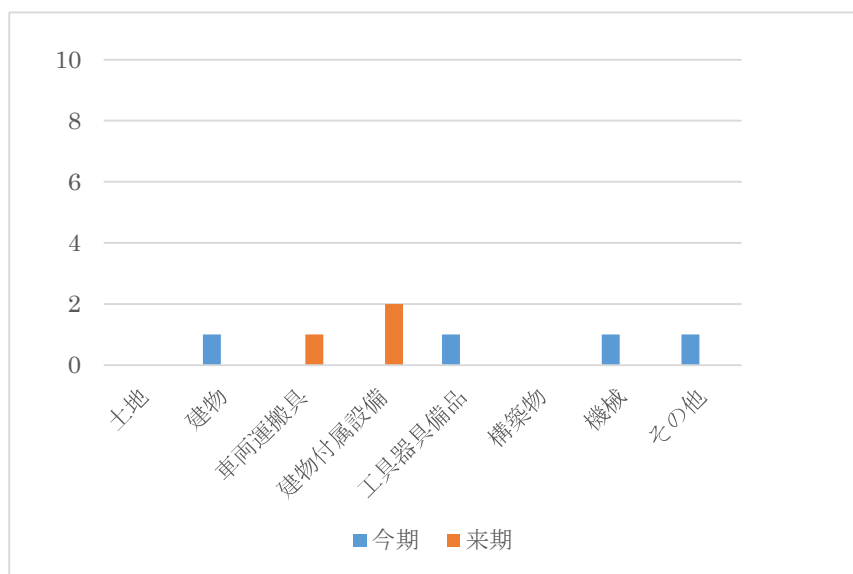
【設備投資調査】

前期（1～3月）設備投資をした企業は28.6%

今期（4～6月）設備投資をした企業は26.7%

来期（7～9月）設備投資を計画している企業は20.0%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 飲食・宿泊業の景気動向 》

【主要 DI 調査】

主要 DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業 況	▲ 25.0	↑	▲ 11.1 【 6.3】	↓	▲ 16.7
売 上	▲ 25.0	↑	11.1 【 37.5】	↓	0.0
採 算	▲ 31.3	↑	▲ 22.2 【▲25.0】	→	▲ 22.2
原 材 料	▲ 93.8	→	▲ 94.4 【▲87.5】	↑	▲ 88.9
資金繰り	▲ 12.5	↓	▲ 27.8 【 0.0】	→	▲ 27.8
労働時間	▲ 12.5	↑	11.1 【 ▲6.3】	→	11.1
雇用状況	12.5	↑	38.9 【 18.8】	↓	33.3

表中の矢印 ・ ・ ・ 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

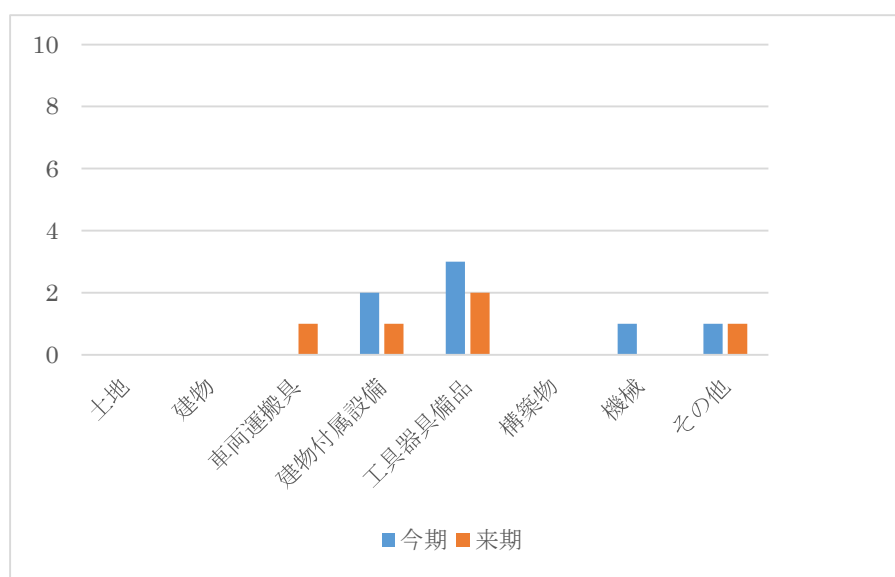
【設備投資調査】

前期（1～3月）設備投資をした企業は40.6%

今期（4～6月）設備投資をした企業は38.9%

来期（7～9月）設備投資を計画している企業は27.8%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 その他サービス業の景気動向 》

運送・生活関連サービス・観光関連サービス・理美容・不動産・その他が含まれます

【主要 DI 調査】

主要 DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業 況	▲3.1	→	0.0 【▲15.2】	→	▲3.4
売 上	▲3.1	↑	20.7 【 6.5】	↓	0.0
採 算	▲9.4	↑	0.0 【▲19.6】	↓	▲10.3
原 材 料	▲59.4	↓	▲69.0 【▲56.5】	→	▲69.0
資金繰り	0.0	→	0.0 【▲6.5】	→	0.0
労働時間	6.3	↓	0.0 【▲15.2】	→	▲3.4
雇用状況	31.3	→	34.5 【 30.4】	→	31.0

表中の矢印 ・ ・ ・ 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

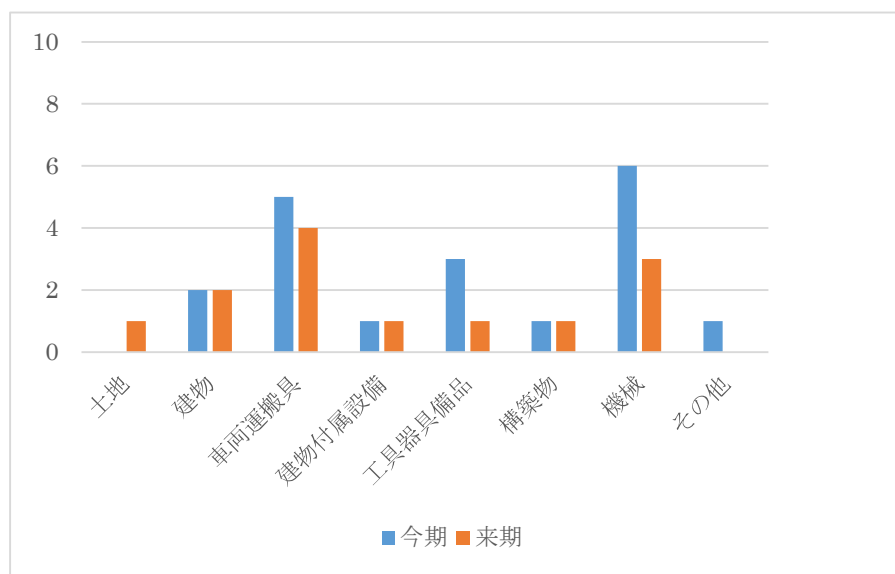
【設備投資調査】

前期（1～3月）設備投資をした企業は43.1%

今期（4～6月）設備投資をした企業は41.4%

来期（7～9月）設備投資を計画している企業は27.6%

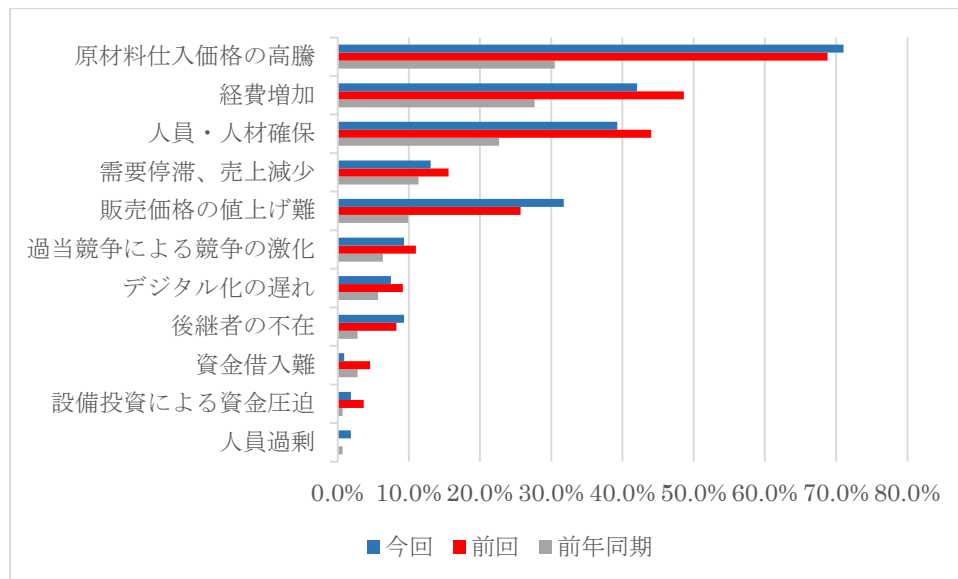
設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 全体の経営上の問題点 》

今回の調査で、経営上直面している問題点で多かったのは、前回に引き続き『原材料仕入価格の高騰（71.0%）』、次に、『経費増加（42.1%）』『人員・人材確保（39.3%）』が多い結果となりました。

前期と比較すると、『原材料仕入価格の高騰』は2.2ポイント増加、『経費増加』は6.5ポイント減少、『人員・人材確保』は4.7ポイント減少となっています。



《 業種別の経営上の問題点 》

	製造業	建設業	卸・小売業	飲食・宿泊業	サービス業
1 位	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰
2 位	経費増加	人員・人材確保	経費増加	販売価格の値上げ難	経費増加
3 位	人員・人材確保	販売価格の値上げ難	過当競争による競争の激化 販売価格の値上げ難 人員・人材確保	経費増加	人員・人材確保

《 観光関連の景況 》

観光に直接的に関わる業種及び企業を抜粋し調査しました。

対象事業者

市内の宿泊業、市内の観光関連業、市内の運送業、清水町・幸町周辺の飲食業、
新千歳空港及び周辺の観光関連事業者、支笏湖・モーラップ地区の事業者

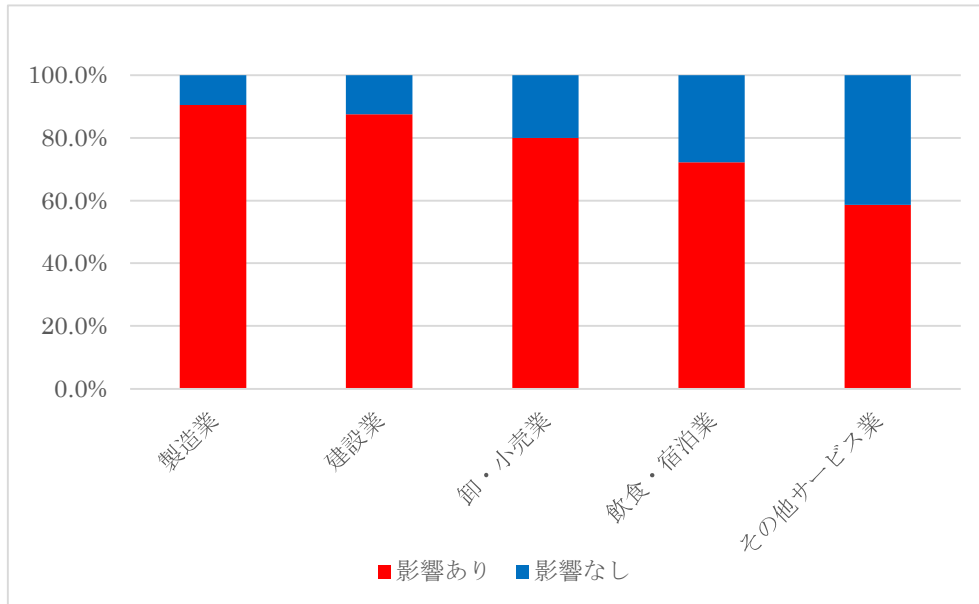
景気動向

主要 DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業 況	▲ 27.3	↑	7.7 【 45.5】	↓	0.0
売 上	▲ 27.3	↑	▲ 7.7 【 72.7】	↓	▲ 30.8
採 算	▲ 18.2	↑	30.8 【 18.2】	↓	15.4
原 材 料	▲ 81.8	↑	84.6 【▲90.9】	↑	92.3
資金繰り	0.0	↑	30.8 【 27.3】	→	30.8
労働時間	▲ 18.2	→	▲ 18.2 【 ▲9.1】	↑	9.1
雇用状況	▲ 54.5	↑	53.8 【▲36.4】	↓	46.2

表中の矢印 ・ ・ ・ 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

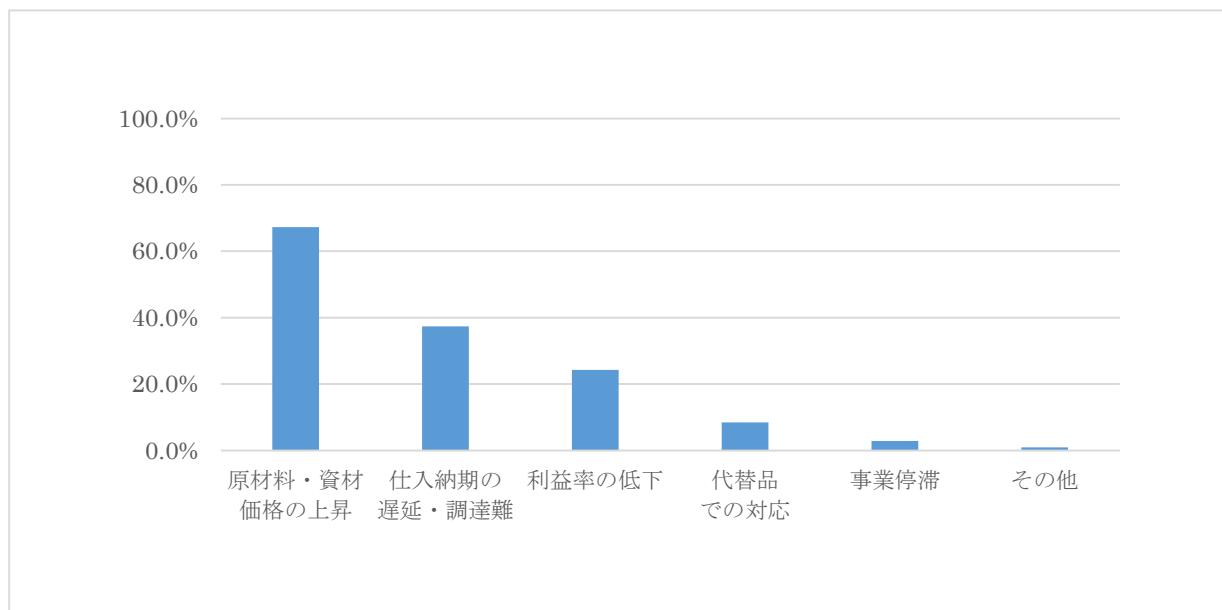
《 ナフサ供給不足の影響について 》

ナフサ供給不足や物価高騰による影響については、全ての業種で「影響あり」が「影響なし」を上回りました。特に、製造業、建設業、その他サービス業では「影響あり」の割合が高く、ナフサ供給不足による影響が顕著に表れています。



次に、「ナフサ供給不足によりどのような影響があるか」という質問に対しては、以下のような回答が得られました。

最も多かった回答は、「原材料・資材価格の上昇」で、次いで、「仕入納期の遅延・調達難」、「利益率の低下」、「代替品での対応」、「事業停滞」の順となりました。



《 企業の声 》

今回の調査においても、多くの会員事業者から現在の経営状況や課題、並びに商工会議所に期待する支援策について、さまざまな声が寄せられました。

併せて、ナフサ不足や物価高騰による影響についての調査も実施しました。業種別に見ると「製造業」で影響を受けている企業の割合が最も高く、次いで「建設業」が影響を受けているという結果となりました。

具体的な影響としては、「原材料・資材価格の上昇」が67.3%と最も多く、次いで「仕入納期の遅延・調達難」が37.4%、「利益率の低下」が24.3%となりました。単に仕入価格が上昇しているだけではなく、仕入れの遅延や調達難など、事業活動や収益面にも影響が広がっていることが分かります。

また、経営上の問題点についても、「原材料仕入価格の高騰」が71.0%と最も多く、「経費増加」が42.1%、「人員・人材確保」が39.3%、「販売価格の値上げ難」が31.8%と続いています。原材料費や経費の上昇に加え、上昇分を販売価格へ十分に転嫁できないことや、人材不足といった課題も重なり、事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にあることがうかがえます。

特に、原材料・資材価格の上昇が利益率の低下につながっていることから、今後は適切な価格転嫁を進めるとともに、仕入先の見直しや調達方法の多様化、業務効率化など、コスト負担を抑えるための取り組みが重要になると考えられます。

今回の調査を通じて、ナフサ不足や物価高騰は一時的な仕入価格の上昇にとどまらず、調達、収益、価格設定など、地域事業者の経営全般に影響を及ぼしていることが明らかとなりました。今後も原材料価格や物価の動向を注視しながら、事業者が安定した経営を継続できるよう、価格転嫁や経営改善等に関する支援を行っていく必要があります。

本調査にご協力いただきました企業の皆様、ありがとうございました。

次回調査は令和8年10月頃です。引き続きご協力の程よろしくお願いいたします。